



看護局いきいき通信



編集委員：奥田美幸 山田菜摘 明道美優
発行責任者：岡本千賀子

令和4年5月発行(年3回発行：春号)

新緑のかおりの季節となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
今年も、引き続き看護局の動向を伝えていきますので、どうぞよろしくお願いいたします♡

看護局長さんからのごあいさつ



美しく咲き誇った桜も、新緑の木々にかわり、看護局の体制も新しくなりました。4月1日から、27名の新しい仲間をお迎えし看護局総勢383名の職員になりました。大和高田市立病院は、地域の方々に質の高い医療を提供すべく、来年度には地域医療支援病院の承認を受けるためにスタートを切りました。そのために、地域の医療機関との連携強化(患者の紹介・逆紹介、研修機会の提供)と救急医療の充実が大きな柱となります。同じ目標

に向かって、私たち看護局は専門性の高い看護実践と看護ケアを提供し看護力を発揮し、地域医療支援病院の承認に貢献したいと思っています。まだまだ、新型コロナウイルス感染症は終息の兆しも見えないままで、感染対策やそのための看護体制確保のために、皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。その中でも、看護職の皆様には、「看護ができた」「看護してやりがいを感じた」と思って日々看護業務を実践していただけるよう、看護局は努力して参りたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

師長さんにお話を伺いました

このたび、透析センター師長としての役割を与えていただきました。前年度は、透析センター副師長として、部署の管理、透析患者さんの支援やコロナ感染対策等について、係長、主査、スタッフと共に考え、試行錯誤しながら2年目を迎えることができました。透析センターは、4月から新しい看護師1名を迎え、医師1名、看護師11名、看護補助者1名、事務3名で協働しています。スタッフ全員で知恵を絞り、個々の患者さんに応じた安全で最適な治療、看護を提供していけるよう頑張っていきたいです。そしてスタッフと共に私自身も成長できるように努めていきたいです。



院内トピックス

今年度4月より3Bさわやか病棟は新しい医師や新人看護師を迎え、さらに活気ある病棟になっています。眼科・消化器内科の患者さんを受け入れる事となりこれまで以上に手術件数が増え、目まぐるしい毎日を過ごしていますが、新しい事を学ぶことの喜びを感じています。眼科チームを発足し、チームで患者さんと関わることでコミュニケーションが円滑に進み安全な看護を提供しています。また外来スタッフとのカンファレンスの場を設け連携を深めています。病棟スタッフが一丸となり、よりよい看護へと繋がることを目指し日々頑張っています。

3B病棟 係長 O Ns



ベンチが設置されました！

新型コロナウイルス感染症対策として孤食が推奨されており、放射線治療棟と西館の間にベンチが設置されました。食事時に是非ご利用ください。利用される際は、1つのベンチに1名で利用をお願いします。詳しくは、MyWeb記事をご参照ください。



褥瘡対策院内認定者にバッチを交付しました

令和3年度院内認定コースに、15名の方が合格されました。おめでとうございます！

今後は部署での褥瘡予防対策にご活躍されることを期待しています。

